

日本現代中国学会関東部会理事会・定例研究会のご案内

会員各位：

今回の現代中国学会関東部会定例研究会は、日中関係の新しい展開を受けて、政治的関係に留まらない、文化や人の交流も含めた日中関係の多角的な考察をテーマとしました。立教大学アジア地域研究所との共同主催により、次ページ以降の要領にて行います。皆様どうぞ奮って御参加下さい。

※なお当日は、関東部会理事会を 13:30 から下記会場にて開催いたします。理事の方々にはご出席を宜しくお願い申し上げます。

記

関東部会理事会

日時：2019年1月12日(土)午後1時半～

場所：立教大学池袋キャンパス 12号館地下 第4会議室

定例研究会

日時：2019年1月12日(土)午後3時～

場所：立教大学池袋キャンパス 14号館3階 D301教室

※地図：http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/qo9edr00000001gl-att/img-campusmap_ike.pdf

関東部会事務局：中村元哉(津田塾大学)、
阿古智子(東京大学)、家永真幸(東京女子大学)、
倉田徹(立教大学)、福田円(法政大学)
〈幹事〉伊藤亜聖(東京大学)、小野泰教(学習院大学)、
佐藤仁史(一橋大学)、澤田ゆかり(東京外国語大学)

日本現代中国学会関東部会定例研究会
日中関係の多角的考察

近年、歴史認識問題や領土問題などをめぐって大いに緊張してきた日中関係は、首脳の往来が実現し、転機を迎えているように見えます。しかし、両国間においては、政府間関係はもちろんのこと、緊密さを増す民間交流や、それを受けての両国民の感情の変化も重要な要因です。本研究会では、日中の様々な方面の専門家を招き、日中関係について多角的な検討を行います。

プログラム

日時：2018年1月12日(土) 15:00-17:30

場所：立教大学池袋キャンパス 14号館3階 D301教室

司会 倉田 徹 (立教大学)

15:00-15:10 開会の辞、趣旨説明

15:10-15:30 初 曉波 (中国・北京大学)

「日中関係のリバランスについて：

政治・安保上の対抗と経済・文化面の共生」

15:30-15:50 家永 真幸 (東京女子大学)

「トキとパンダから読み解く日中融和」

15:50-16:10 阿古 智子 (東京大学)

「”深い学び”の限界と可能性：日中の現場からの考察」

16:10-16:30 休憩

16:30-16:50 コメント 福田 円 (法政大学)

16:50-17:20 質疑応答

17:20-17:30 閉会の辞

主催 立教大学アジア地域研究所・日本現代中国学会関東部会